

# 学校での具体的な対応

## 1. 「密閉」「密集」「密接」を避けるために

### ●教室等のこまめな換気

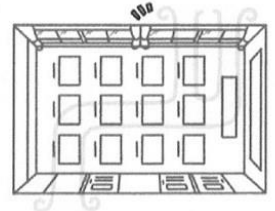
授業中→対角線上のそれぞれ1つ以上の窓を開ける（右図参照）。

放課→授業終了時に授業担当者が全部の窓を広く開けて換気を行わせる。

※衣類等による温度調節にも配慮する。

### ●近距離での会話について

飛沫を飛ばさないように、近距離での会話は避ける。



対角線上の窓を同時に開ける

## 2. 消毒について

### ●教室：毎朝、担任が教室へ行った際に、多くの生徒が手を触れる箇所（教室のドアの取っ手、電気のスイッチ）の消毒をする。

#### <消毒方法>

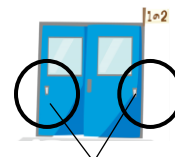
各教室前に設置してあるアルコール消毒を紙ペーパー（備え付け）に吹き付け、ドアの取っ手、電気のスイッチ等を消毒する。



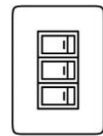
### ●トイレ：清掃時に清掃担当の生徒が近くの教室前に設置してあるアルコール消毒と紙ペーパーを用いて、トイレの個室の鍵とスイッチの消毒。

### ●共用の教具、教材、情報機器等：担当者が適切に消毒。

消毒できない場合は、触る前後に手洗いを徹底する。



取っ手



## 3. 健康観察について

体調不良者がいないか、精神的に不安定な生徒がいないかを朝の健康観察で特に注意して実施する。また、授業中も生徒の変化があればすぐに担任、保健室へ連絡。

## 4. 手洗いについて

様々な場所にウイルスが付着している可能性があるため、外から教室に入る時やトイレの後、昼食の前後などこまめに手を洗うように生徒に注意喚起を行う。

## 5. 昼食について

飛沫を飛ばさないよう、机を向かい合わせにしない、または昼食時の会話は控える。

## 6. 体調不良者について

家庭で検温を確認してこなかった生徒については、保健室で検温を行う。

登校後、発熱等体調不良の場合は、家庭連絡をし、保護者に迎えを依頼する。保護者の迎えを待つ間は、別室（教科研究室）にて待機。

※発熱等の場合、原則保健室での休養は行いません。